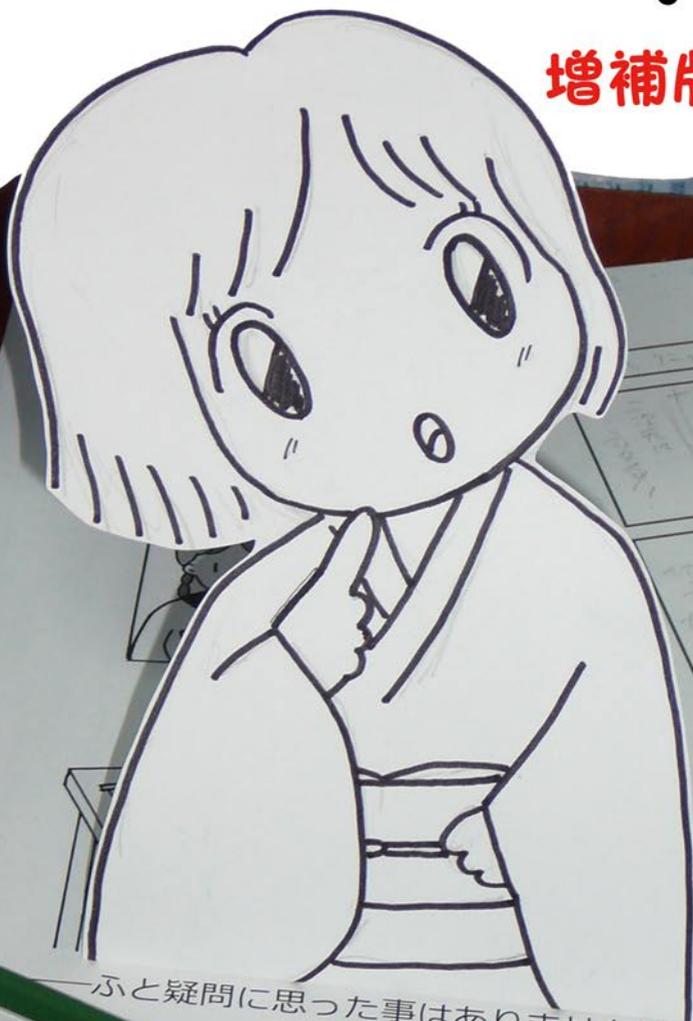


# どうして女の子の 絵ばかり描くの？

増補版



ふと疑問に思った事はありませんか



どうして女の子の絵ばかり描くの？

# 目次

アニメは子供だけのもの？	3
「可愛い」は「上から目線」？	4
漫画キャラクターって、どうして目が大きいのか？	7
どうして女の子の絵ばかり描くの？	9
どうしてメイドさんが人気なの？	12
メイドカフェって、子供が入っていいの？	15
「萌え」ってどんな意味？	18
「現実と虚構の区別がつかなくなる」って本当？	21
本物だって可愛いのに、どうして絵を選ぶの？	24
男なのに女の子の漫画が好きなのは、変？	27
漫画好きは恥ずかしい趣味？	32
アニメファン冬の時代	34
「オタク差別」なんてものはない？	38
オタク批判は悪い事？	40
どうして「オタク文化」を他の人にも説明するの？	44

## アニメは子供だけのもの？

皆さんは「アニメを見る年代」と聞いて、どれ位の年代を想像しますか。

かつては、「アニメは子供の見るもの」とみなされがちな時代もありました。テレビのゴールデンタイムで、子供をメインターゲットにしたアニメが今より沢山放映された二十世紀は、特にそんな印象が強かったものです。大人のアニメファンも存在しましたが、大人をメインターゲットにしたアニメは割合として少なく、子供をメインターゲットにしたアニメを楽しむ事が多かったものです。

しかし二〇〇〇年代以降、十代から成人をメインターゲットにしたアニメ作品が深夜に沢山放映される様になりました。アニメファンはもちろんの事、仕事の関係で深夜に帰宅する人まで何となく見る様になったり、テレビで見た事はなくてもコンビニの景品として時折見掛ける様になりました。特に二〇一六年はアニメ映画が目された年で、「君の名は。」や「この世界の片隅に」を見に行くと、従来あまり見掛けなかった層、つまりファミリー層でもアニメファン層でもない、中高年だけで来る観客を少なからず見掛ける様になりました。もはや、「アニメは子供っぽい趣味」の時代ではなくなつたのです。

しかしその一方で、アニメ等のファンに関する誤解や偏見もまだ一部にあるのは確かです。時には、その誤解が元で、ファン活動をやる様に、ファン仲間との交流も絶つ様に、と家族から命令される事すらあるかもしれません。もちろん、それは必ずしも悪気があるわけではなく、当人を心配してとか、家族に悪い評判が立つては困ると思つての事です。

しかし、本書はそんな時でも見せるだけで相手の誤解が解ける様な魔法の冊子ではありません。この種の誤解を解くのは何年、十何年掛かる長期戦です。

また、「アニメファンやオタク文化を批判する事は百パーセント悪い」と決め付けるための冊子でもありません。批判そのものではなく、「不公正な」批判だけは止め、公正に判断して欲しいのです。様々な反対意見が本当に正しいのかどうか考察し、必要があれば不公正な主張に対し弁明する為のヒントとして役立てていただければ嬉しいのです。

## 「可愛い」「は」「上から目線」？

「私は「可愛い」って言葉が好きではありません。『上から目線』な気がしませんか？」

——なるほど、そんな意見をよく聞きますね。大人や強い人間が、子供や動物など弱い存在を「可愛い」と呼ぶことが確かにあります。でもちよつと待ってください。お母さんのことを「ママ可愛い！」と言ったりしませんか？

「可愛い」。私達がよく口にする言葉です。皆さんは何を見た時に「可愛い」と思ひますか。

ところで、ある人は「可愛いといふのは、自分より下の無力な存在を支配したいといふ思ひの表れだ」と主張する事があります。要するに「上から目線」ではないか、といふ指摘です。

### 上下関係を円滑にする潤滑油

でも、ちよつと考へてみてください。もしそれが正しいとしたら、私たちの普段の「挨拶」はどうでせう。目上の人には「ございます」を付けなければならぬ、といった、明らかに上下関係を意識した挨拶もありますが、それは「上から目線」でせうか。いいえ、必ずしもさうではありません。同じ上下関係でも、威張った様な関係ではなく、挨拶をうまく使つて、お互ひ

ニコニコできる関係になるのがいいものです。

「挨拶」とは、「私はあなたを攻撃しませんよ」といふ「武装解除」のアピールであり、相手に対する親愛の情の表れです。「可愛い」にも同じ事が言へるわけではありませんか。

### 隙を見せるのは信頼の現れ

「可愛い」にも、色々な種類があります。

最初に、見た目の可愛いらしさや「無邪気でユーモラスな仕草」の可愛さがあります。仔犬が自分のしつぽを追ひかけ回したり、仔猫が毛糸玉を追ひかけ回す様子を見て、可愛い、微笑ましいと思ふ人は多いものです。

漫画では、わざと二等身位にして幼く描いた「ちびキャラ」が登場する事があります。無邪気なコロコロした外見で、コミ

カルな仕草をするキャラクターに対し、まるで小動物を目にした時の様に、思はず親愛の情を抱いてしまふものです。

そして、人や動物の「幼さ」「隙のあるところ」「アホな部分」から「ユーモア」が生まれる事は少なくありません。たとへば漫才は、ツッコミ役の話をほとんど理解してゐる様でゐて、ほんの一部だけ「ズレてゐるところ」があると、そこが面白いのです。

また、いつも何かとドジを踏んでしまふ人なのに、「何だか憎めなくて可愛い」といふ事もあるかもしれません。

一見強がつてゐて、相手に冷たい様に見えても、実は寂しがり屋だったり、相手の事を想つてゐるなど、そんな隙を言動からチラッと覗かせてしまふ、そんなギャップの面白いキャラクターも、漫画ではよく見掛けます（これは昔からあるお決まりパターンですが、最近「ツンデレ」と呼ばれる様になりました）。なるほど、これらは「幼さ」「隙」「愚かさ」といった、ある意味「人間の弱い部分」から生まれるユーモアかもしれません。「それこそ、自分より下の無力な存在を支配したいといふ欲求の表れ」でせうか。

でも、ちよつと考へて下さい。いつも「よそゆきの顔」をしてゐる人と、適度に隙を見せてくれる人、どちらとお友達になりたいですか。普通は、適度に隙を見せてくれる人の方が親しみが湧くものです。「相手を信頼してゐる」からこそ「隙を見せる」ではありませんか。

### 上下関係だけではない

加へて言ふなら、「可愛い」といふ言葉は、目上の人に使はれる事もあります。たとへば「ママ可愛い!」「パパ可愛い!」と言ふ事はありませんか。芸能人ではたとへば、中村玉緒や黒柳徹子の仕草を「可愛い」と言ふ事があるかもしれません。具体的には、服やアクセサリーが可愛いかったり、お茶目な仕草や言葉に、思はずさう言つてしまふかもしれません。ここまで来ると、『可愛い』は『上から目線』?』といふ疑問のヒントらしきものが見えてきます。

私人の見解ですが、「可愛い」は、時と場合によつては、馴れ馴れしい「タメ口」に聞こえてしまふ事があるかもしれません。人を「ちゃん」付けで呼ぶのと同じで、目下の人や動物などに対してとか、上下関係に関はらず親しい間柄で、あるいは面識がなくとも相手に親しみを感じてゐる場合に使ふ、そんな言ひ方といふわけです。

それでは、『タメ口』は『支配欲』でせうか。必ずしもさうではないでせう。

### 日本は「可愛い」文化の発信地

日本は「可愛い」文化の発信地、とも言はれます。ハローキティは世界的人気ですし、最近はお伽話のお姫様の様な「姫系」とか「ロリイタ」と呼ばれるファッションも、海外で真似する

人が出始めてゐます。

比較的治安が良くて礼儀正しい人が多い事、世界の平均からするならあまりにも「お人好し」な位に他人を信用する事、これこそが、日本文化が「可愛い」を重視する理由の一つなのではないかと私は思ひます。つまり、「可愛い」を「未成熟の表れで、自分の弱さを無防備にも他人にさらけ出す危険で愚かな行動」と悪者扱ひする代りに、「自然な親愛の情の表現」「人間関係を円滑にする要素」と好意的な見方をしてゐるのです。

### 良い方法で活用しよう

もちろん、「可愛い」といふ言葉を悪用する人もゐます。結婚詐欺師は「君は可愛いね」と言ふかもしれないし、誘拐犯は「少女が可愛いかったから」を口実にするかもしれません。

しかし、悪い使ひ方があるから、良い使ひ方がないわけではありません。相手が悲しむ方法ではなく、自分も相手もニコニコできる方法が理想です。

あるいは架空の物語であつても、「可愛い」といふ要素をうまく使へば、その登場人物に余計に親しみを持たせる魅力となるに違ひありません。うまく活用しない手はありません。

### 「愛」は恋愛だけではない

「愛」と聞いて、どんな愛を連想しますか。「恋愛」をイメージする方が多いかもしれません。

しかし、恋愛だけが「愛」ではありません。家族愛や友愛も「愛」のうちです。災害の被災者や障碍者の支援、宗教家の説く「汝の隣人を愛せよ」とか「悪しき者の上にも善き者の上にも」等しく太陽と雨の恵みを与へる「神の愛」など、「博愛」も「愛」の一つです。

中国では「孝（親子愛）・友（兄弟愛）・睦（夫婦愛）・姻（親族愛）・任（隣人愛）・恤（人類愛）」の「六行」として説明されたり、西洋では、エロース（性愛）・ストルゲー（家族愛）・フィリア（友愛）・アガペー（博愛、ただし異説もあり）といふギリシャ語の四種類の言葉で区分する人もゐます。

ただし、「愛はこのどれか一つだけに分類される」といふ意味ではなく、二つ以上重なり合つてゐる事もあります。特に夫婦の愛情はかなり重なる部分が多いはず。

## 漫画キャラクターって、どうして目が大きいのか？

「漫画キャラクターは、目が顔の半分位の現実離れた大きさだったり、デザイン感覚がなさ過ぎる様にも感じます」

——漫画は昔から「誇張」の文化です。ミッキーマウスも目が大きいし、新聞の政治風刺漫画も二等身で大袈裟な動きですね。

昔のアメリカの漫画・アニメ映画の影響や、昭和初期に少女雑誌や婦人雑誌のイラストを描いてみた中原淳一らの影響など、色々な説があります。少なくとも、手塚治虫よりもっと昔の話です。「ミッキーマウス」「ベティー・ブーブ」など、アメリカ生まれのまんまるお目々のキャラクターは今でも広く親しまれていますが、目を大きく誇張して描く事は、うんと昔から広く使われてきた、漫画やイラストの表現テクニクです。

目をわざと本物より大きく描く理由ですが、人間がものを見る仕組みに関係があるやうです。

たとへば、有名人や政治家の似顔絵が新聞や雑誌などに載る事がありますが、体の寸法の割合を、本物とぴったり一致させて描くことはあまりありません。大人なのに二頭身に描くことも少なくありません。顔をうんと大きく強調して描くことで、表情がよく見えるものです。

それに加へ、目を強調するのもよく使はれるテクニクです。瞳や目を本物よりちよつと大きめに描いてみたり、わざと小さく描く時でも細目や真ん丸に描いて、目の位置もうまく工夫すると、途端に可愛く見えるものです。

これらは、人間が顔や目に注目する事を利用した表現手法です。目立つ部分を強調して描くと、本物より「それっぽく」見えることすらあります。

物真似芸人にも、外見も声もまるでそっくりといふ人もあれば、外見や声はぴったりと似てはゐないが芸でカバーするタイプの二種類ありますが、なぜか後者の方が観客の印象に残ることがあります。同じ「美川憲一」「千昌夫」「長嶋茂雄」の物真似でも、「特に目立つ特徴や決め台詞」をうまく抜き出して強調すると、外見や声そのものがそれほど似てゐなくても、何だか本物より特徴が出て似てゐる様に錯覚してしまふものですが、そ

れと同じ仕組みです。

絵といふものは、ありのままの姿を百パーセントそのまま伝えることは出来ません。線と色塗りだけで表現する、漫画やアニメのイラストは特にさうです。しかし、「そのデメリットをどうカバーして、本物の魅力をみんなに伝えるか」こそ「絵の面白さ」であり、「絵を描く人一人一人の個性が出るころ」とも言えます。



## どうして女の子の絵ばかり描くの？

「わたしは女の子なので女の子の漫画の絵を描くのが好きだけど、お姉ちゃんも、それにお兄ちゃんも、女の子の絵ばかり描くんです。男でも女でも、どうして男の子のイラストよりも女の子のイラストばかり描く人が多いんですか？」

——よく気付きましたね。「可愛い」「し」「描きやすい」事をはじめとして、本当に沢山の理由があるんです。皆さんは幾つ挙げられますか。

「どうして女の子の絵ばかり描くの？」といふ言葉は、三つの意味に取る事が出来ます。

- 一、どうして男性の絵ではなく女性の絵ばかり描くのか。
- 二、どうして大人の絵ではなく子供の絵ばかり描くのか。
- 三、あなたは女の子の絵ばかり描くのを止めなさい。

ここでは、一と二の理由について考へていきます。

### 初心者にも描きやすい

まづ、「描きやすい」事が挙げられます。足のラインを描くのが苦手でも、とりあへずロングスカートでごまかせます。

髪の毛や服装の種類も、男性よりも非常に豊富です。違ふキャラクターの描き分けも楽ですし、少々絵が苦手でも、「リボン」や「フリル」等の小物で飾れば、簡単にお洒落度がアップします。男の子ではこんな風にはいきません。

### シンボルとして

何かの「シンボル」として少女を描く人も少なくありません。まづ、年少少女は「成長のシンボル」です。「年少少女の成長に倣って、我々にも成長できる分野はある」といふ気持ちの表れです。特に「か弱くてもけなげに努力するいぢらしさ」に共感を覚える人もあるものです。

次に、「純粹な心」や「清純さ」のシンボルとして描かれたり、

将来母親になる素質を秘めた「母性のシンボル」として描かれる事もあります。話は横道にそれますが、会社やデパートなどの受付係も、女性が多いものです。男性には真似の出来ない安心感を醸し出す事が出来るのかもしれない。

もちろん、「親しみのシンボル」として描かれるのは、定番中の定番パターンです。「もう、ニコニコと笑ってゐる顔を見るだけでも癒やされる、元気がもらへる」と感想を述べる人も少なくありません。

### もののはれ

自分が若かった「昔を懐かしんで」描く人もあるでせう。

また、「少女の時」とは、まるで桜が咲いてはすぐ散つてしまふかの様に、あつといふ間に過ぎ去つてしまふ短いものです。それを名残惜しみ、イラストといふ形でその「時」を切り取るわけです。平安文学でいふ「をかし」「もののはれ」に通ずる部分があるかもしれません。

少々話は脱線しますが、反戦的な作品では、しばしば「いたいけな少女」が登場します。「こんなに可愛い目をしてゐて、将来もあるのに、戦争はその子から何もかも奪つてしまふ」といふ事実を、ただ大人が被害に遭ふよりも、もつと強烈にアピールする効果があるものです。

### 「リボンとフリル」の世界

男性の場合、「女の子の世界への淡い憧れ」が背景の事もあります。自分には実際にはその世界に加はれないが、もし自分が女の子だったらどんな風で、どんなお友達ができてゐるだらう、と頭の中で想像する人も少なくありません。

絵の中の世界では、「語り部」や「自分の分身」としての登場人物や、「役者」としての登場人物です。自由に物語を作つて、自由に動かす事ができます。

### 理由は人それぞれ

「理想の恋人像・女性像」として表現する人も多いでせう。恋愛小説として表現したり、ラブソングとして表現する人がいる一方、絵の得意な人は、イラストや漫画の形で表現するものもあります。

その他にも、「家族や友人の影響で」女の子のイラストを描く様になつた人もあるでせうし、昔から今に至るまで、「毎日の糧を得るため」といふ人も少なくありません。

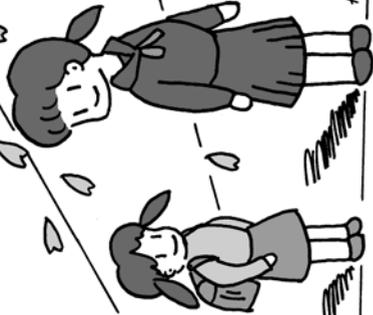
この様に、「どうして女の子のイラストばかり描くの？」といふ質問を一つ取り上げても、数えきれないほどの理由が考へられます。皆さんはいかがでしたか。

母性のシンボルとして

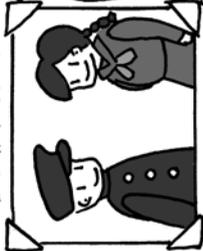


成長のシンボルとして

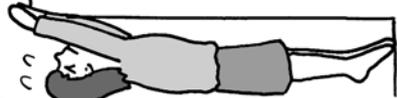
短き少女の時を  
名残惜しんで



昔を懐かしんで



いかに弱くてもけなげに努力する  
いらいさや其感



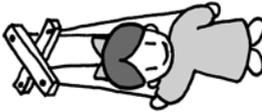
擬人化キャラクター  
として



かわいくて親みがよくから



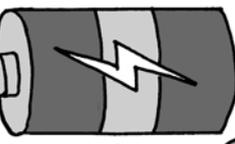
物語の登場人物として



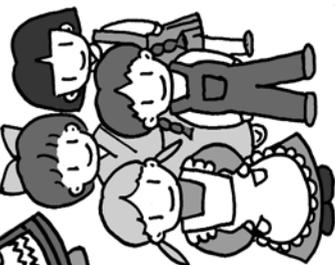
男より描きやすいから



元気の源として



装束の豊かさゆえ  
髪の種類



理想の恋人像・  
女性像として



日ゴとの糧を得るため



家族や友人の影響で



自分の分身や語り部として



「女の子のイラストを描く17の理由」

纯真な心や  
清纯さの  
シンボルとして



男性文化の暴力性に  
対する反権

## どうしてメイドさんが人気なの？

「最近の若いもの間で『メイドさん』の扮装が流行ってる、とテレビで見たのですが、ただのお手伝ひさんのところがそんなに良いんですかねえ」

——働き者の女性って、立派だと思ひませんか？

最近、メイドさんを題材にした漫画やアニメや、メイドさんに似た制服で給仕する「メイドカフェ」が人気だ、といふ話を耳にしたことがあるかもしれません。

しかし、「わからない。メイドさんのどこが良いんだらう」と首を傾げながら見てゐる人も多いのではないでせうか。早速、この秘密を調べてみませう。

### 「メイドさん」の魅力とは

結論から先に言ふなら、一口に「メイドさん」の魅力といっても、答へは一つではありません。たとへば、こんなものがあります。

・西洋の豪邸暮らしへの憧れ

・メイドさんのゐた昔の時代への興味

・クラシックで可愛い服装

・清純な雰囲気

・けなげに働く姿のいぢらしさ

・自分もお世話してくれたらいいな、といふ願ひ

・恋愛禁止のおきてを破つたり、身分の差を乗り越える、といふドキドキするストーリー

### 服装の可愛らしさ

特に、「服装が可愛らしい」事を挙げる人が一番多いものです。あのメイドさんの服装はよそ行きのドレスではなく、あくまでも家事を行ふ時の作業着ですが、ちよつと可愛らしさも兼ね備へてゐます。

昔は喫茶店やレストランのウェイトレスさんも、メイドさんの制服に似たものが多かったので、漫画やアニメに出てくるウェイトレスさんといふと、似た様な服装で描かれる事が多いかもしれません。これは、昔の英国で、メイドさんの仕事を卒業して喫茶店のウェイトレスさんになった人が、メイドさんの時の制服をそのまま使った事の名残なのだ、といふ説があります。そして、服装の上品で清純な雰囲気を挙げる人もあるでせう。昔のメイドさんの服装は、まるで「婦人の慎み」を服装で表現したかの様なロングスカート。日本でいふなら「着物」の魅力に近いかもしれません。

どちらも、「自由奔放の美」とは正反対の、「型にはまった美」と言へるでせう。最近忘れられてゐる、そんな美の魅力を思ひ起こしてくれるのかもしれませんが。

### メイドさんは働き者

「働き者」なところがいい、といふ人もきつとあるでせう。キヤリアウーマンとしてバリバリ働く労働も立派ですが、主婦やメイドさんの様に、決して目立たないが家の仕事を黙々とこなす、そんな「家事労働をする婦人の美しさ」を再発見してゐるのではないでせうか。

そして「ナースへの憧れ」と共通する部分もあるかもしれません。「人をお世話する仕事の充実感」を、漫画作品や、メイドさんの扮装といふ形で表現してゐるのです。もちろん逆に「自

分がお世話されたい」と憧れる人も多いでせう。

### 「メイドさんと仲良し」は日本的

メイドさんは映画やドラマなどでは脇役が多いのですが、たまたま主役になる事もあります。その中でも特に有名なのは「小公女」でせう。金持ちのお嬢様のセーラが、父の死を切っ掛けに、メイドとして毎日朝から晩までつらい仕事をする様になる、といふ内容の作品です。

日本ではどちらかといふと「お手伝ひさん」とも呼ばれて、家族とも親しい間柄になる事も多いのですが、西洋では「家の者はむやみにメイドと親しくならない事」といふおきてがある事が多かったやうです。学校でも日本の様に児童や生徒の「掃除当番」はなく、雇はれた清掃員がやる仕事になってゐます。「小公女」の主人公、セーラも、メイドになつた途端、手の平を返した様に以前の級友達（一部の親友を除く）から避けられる様になりました。欧米文学の世界では一般に、「メイドさんと親しく話すのは、身分の違いを意識しない、無垢な感性を持った小さな子供」といふのがお決まりのパターンなのかもしれません。ところが、最近の日本の「メイドさん」ものの漫画やアニメには、「押しかけ女房」ならぬ「押しかけメイドさん」ものも時々見掛けます。冴えない主人公のところに、なぜかメイドさんがやって来て、身の回りのお世話を一通りやつてくれる、といふコメディものです。もちろん、自分の目下であるはずのメ

イドさんに逆に翻弄されてしまふ、といふのが、お約束のパターンです。

笑つちやふほど大層都合の良い展開（ギャグ漫画のお約束）ですし、西欧的なメイドさんの常識からすると、かなり型破りなのでせうが、「メイドさんと仲良くなつてしまひ、平和的な疑似家族を築く」といふ作品が比較的多めに出てゐるのは、もしかすると、日本だからこそその発想なのかもしれません。

### 表現も人それぞれ

この様に、一口に「メイドさん」への憧れと言つても、様々な要素があります。その上でこの憧れを、「メイドさん」ものの漫画を描いたり、メイドさんの扮装といふ方法で表現する人がゐれば、「あの憧れのメイドさん」がゐる喫茶店が流行つたりといふ昨今のブームがあるわけです。

『メイドさん』は『自分の言ひなりにできる、主人に忠実な存在』として男の征服欲を満たす存在だから流行るのだ、などと簡単に結論を出してしまふ人も一部にゐますし、古今東西を問はずその種の作品が沢山出てゐるのも真実ですが、それでもこの種の説明は真実の半分しか伝へてゐません。「メイドさん」のどこに魅力を感じるかも人それぞれ、表現方法も人それぞれなのです。

特に最近では、英国のメイドさんの歴史に真面目に興味があつて、当時の英国の歴史やメイドさんについて研究したり、漫画

作品として表現したりする人も出てゐます。特に、漫画家の森薫先生の描いた「エマ」はアニメにもなり、メイドさんファンに大きな影響を及ぼしてきました。興味のある方は是非ご覧ください。



## メイドカフェって、子供が入っていいの？

「メイドさんの話のついでに質問！ 『メイドカフェ』って、何ですか？ ボクみたいな子供が入っていいのかわからないけど……」

——ウエイトレスさんがメイドさんの<sup>が</sup>恰好をした喫茶店の事ですよ。今では電気街の観光スポットとしてすっかり有名になりました。子供でも入れますが、喫茶店はなるべく大人の人と一緒に行ってくださいね。

### どんなサービス？

もしお友達の家に行った時、メイドさんが応対してくれたとしたらどうですか。その家に住んでゐる人にとっては当たり前でも、さうでない人にとっては、意外な体験になるはずですよ。

こんな体験が気軽にできてしまふのが「メイドカフェ」です。サービスは大抵普通の喫茶店と同じで、コーヒーや紅茶やケーキ、そしてカレーライスやスパゲッティ等の軽食も注文できます。値段は店によりかなり異なりますが、安い方の店ではコーヒー一杯五百円前後と、普通の喫茶店とそれほど変わりません（加へて、酒のメニューが豊富な店が「メイド居酒屋」と呼ばれる事もあります）。

ここまでなら普通の喫茶店と同じなのですが、ウエイトレス

さんの制服は、メイドさんみたいな、可愛らしいエプロンドレスです。もしそんな恰好の店員さんが席を案内してくれたり、注文の品を持ってきてくれたりしたら、何だか「お屋敷のお客さん（とか若旦那とか若奥様）」になった気がしませんか。

秋葉原などの電気街は大人の男性が多めなので、客層もそれを反映してゐるものの、女性や子供が入つてはいけないわけではありません。実際、女性客もよく見かけますし、子供連れで来る客も時々目にします。「知る人ぞ知る店」から、今ではすっかり「電気街の新たな観光スポット」になってしまひました。私も、「秋葉原に一度も行った事がないけど、連れていつて欲しい」と男性からも女性からもお願いされる事がありますが、大半は「テレビで見た、あの『萌え萌えきゅーん！』ってやるメ

イドさんのお店に是非行きたい」といふリクエストを受けるものです。

さて、本題に入りませう。メイドカフェとは、先も述べた通り、「制服が可愛らしいだけの、普通の喫茶店」です。誤解してゐる人も多いのですが、「女性店員が隣の席に座って接待してくれる」店でも、性的サービスを売り物にした店でもありません。ですから「オタク向けキャバクラ」とか「オタク向け性風俗店」は誤りです。これは、テレビで見ただけの知識でも、一つの店だけを観察したものでもなく、私自身実際に沢山の店を観察してみたの結論ですが、建前なしで本当にさうです。

店員は、ただ席に案内して、註文を取って、お茶やお菓子を運んで、お金の精算をするだけで、それ以外の時は席に来る義務はありません。かつては店の前に三十分から一時間待ちの行列ができるほどでしたし、忙しくてお客さんにベタバタくっついて接待をするところではありません。店によつては、それほど忙しければ店員が客と世間話程度の会話をする事もありますが、一般的な飲食店での店員と常連さんとの関係に似た雰囲気です。

女性が隣に座ってお酒をついでくれる様な店が大好きな人は、「ただ制服が可愛いだけで、隣に女の子が座ってくれないし、性的なサービスも全然ない。そのどこが面白いんだ」と思ふかもしれません。でも、それがいいのです。そもその目的もまるつきり異なります。

### 店とイベントを事前確認しませう

皆さんは、「メイドさん」といふと、どんな姿を想像しますか。外国映画に出てくる様な、シックなロングスカートのメイドさんですか。それとも、八〇年代のアイドル歌手みたいなふりふりスカートの、元氣いっぱいなメイドさんですか。

テレビの秋葉原特集では、後者の恰好をしてゐる「にぎやかな店」が紹介される事が多いものです。でも実は、あまりテレビで紹介されない、前者の恰好をした「落ち着いた雰囲気のお店」も幾つかあります（秋葉原では「キュアメイドカフェ」「シャツツキステ」、池袋では「ワンダーパーラー」等）。実際に入つてみた人からは、「この雰囲気は、普通の喫茶店と一緒だね」といふ感想が返ってくる事が多いのですが、ただ店員さんの制服がメイドさん、といふさり気なさが良いのです。時間とお金に足運んでみてください。一口にメイドさん、メイドカフェといつても、いろんな捉へ方やアレンジがある」事を実感できるはずですよ。

また、必ず事前に、その店の情報をインターネットで確認して下さい。秋葉原に着いてからピラ配りのメイドさんに案内されるがままにメイドカフェやメイド居酒屋に行くと、高いテーブルチャージを取られる等、相場より高く付く事もあります。ピラ配りをしなくとも客が集まる店にこそ良い店が沢山ありますし、

ビラ配りに人件費を割く必要がない分、価格も相対的にお手頃です。事前に確認する事で、にぎやかな店と落ち着いた店のどちらかもわかります。店によつては、時々期間限定で、メイドさんではない他のアニメの登場人物の恰好をしてゐる事がありませんので、どうしてもメイドさんでなくては嫌であれば、必ず事前にチェックしてください。

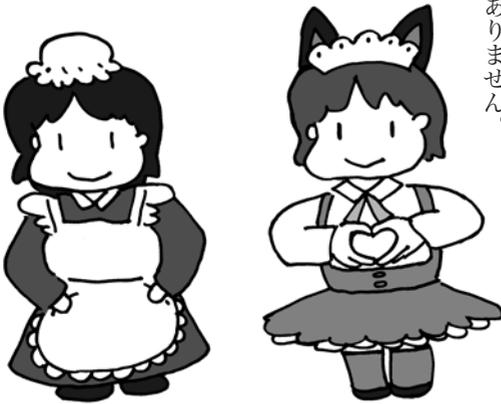
## ご 注 意

秋葉原等の電気街に詳しい人の中でも、メイドカフェに入つたことのある人は比較的少数派です。「どこの店がおすすめ？」と聞かれても全然わからない人の方が多い上に、「オタク向け性風俗店」と誤解してゐる人さへ本当に多いものです。場合によつては、その話を振るだけで「そんな店も客も大嫌ひだ。古き良き昔の電気街を返せ！」といふ反応を返すマニアも極一部にゐますので、あらかじめ念頭に置いてください。

次に、「メイドさん」の恰好の店員のゐる店のすべてが「メイドカフェ」とは限りません。秋葉原電気街等ではメイドさんによるリフレ（男性店員の目の行き届く程度の、薄いカーテンで区切られた部屋で、性的サービスの一切ない普通のマッサージを受けられる店が多い模様）が多いものですが、カフェよりは少し値段が張りますし、一般的な手もみマッサージ店よりは割高です。

最近では、秋葉原電気街を歩くと、メイドさんだけでなく、セ

ラー服やブレザーの女子高生の扮装をした店員がビラ配りをしてゐる事がありません。こちらはメイドカフェとは異なり、青春時代に帰つた様な気持ちになれる店かもしれません。一部の人権活動家が「これは少女売春の客引きで、横を通る男性が少女の品定めをしてゐる」かの様に話を盛つた嘘を広めてゐますが、実際には大人による「なんちゃって女子高生」も少なくありませんし、大半の通行人がビラ配りを避けてゐます。本当の女子高生店員のゐる店も本書執筆時点では一部ありますが、いづれにしても、性風俗店の様なサービスは建前ではなく本音で本当にありませんし、男性店員も目を光らせてゐます。秋葉原はそこまで無法地帯ではありません。



## 「萌え」ってどんな意味？

「最近よく耳にするんですが、『萌え』って何ですか？」

——まづは「とても大好き」とか「とても可愛い」といふ言葉に置き換えてみてください。でも本当は「侘び寂び」と同じ位に一言では説明しづらい言葉なのですが。

「勉強に燃える」とか「仕事に燃える」といふ言葉を皆さんも耳にしたことがあると思ひます。実は、あの「萌え」といふ言葉は、この「熱心に何かをする」意味の「燃える」から来てゐます。

この言葉はアニメキャラクターやアニメ声優などに夢中になつて大好きな様子を表す言葉として、主に漫画やアニメのファンの間で使はれ始めました。最初は「燃え」「もえ」と書かれてゐましたが、一九九〇年代半ばに、草木が萌えるの「萌え」の字を宛てる様になりました(その字を宛てる様になつた理由は、アニメキャラクター名説や誤変換説など諸説あります)。二〇〇〇年代に入り、「電車男」やテレビの秋葉原特集番組などを通じて、漫画やアニメのファンだけの言葉ではなく、広く一般にも知られる様になりました。

しかし、「萌え」とは正確にはどんな意味なのでせう。そもそも「可愛い！」や「大好き！」とはどう違ふのでせう。

実を言ふと、これは当の漫画やアニメのファンの間でも色々な説があつて、未だに結論が出てゐません。一つ言へるのは、「萌え」は単に漠然とした「可愛い」「大好き」ではなく、「燃える」、つまり熱狂的に好きといふ事です。

### 「萌え」とは「スイッチが入る」こと

皆さんは、「スイッチが入る」といふ比喩表現を使ふ事がありますか。たとへば、ペットシヨップで可愛い犬や猫を見つけた時に、もうすつかり魅力のとりこになつてしまつて、漫画でいふ「目がハートマーク状態」になつてゐる時に、「スイッチが入つた」と言ふかもしれません。これが「萌え」です。そしてそ

の「スイッチ」が入ると、思はず「キヤ〜可愛い」と叫びたくなったり、そのペットをモフモフしたいと思ふかもしれません。

「わかる、わかる！」と言ふ人もあれば、「いやわからん、犬や猫を見たってそんな感情は湧き上がらない」と言ふ人もあるでせう。この「心のスイッチ」をオンにする鍵となるものも、「スイッチ」がオンになった時の反応も、人それぞれ異なります。

漫画やアニメのファンも同じです。ある人はメガネが可愛いと思ふかもしれないし、ある人はメイドさんのふりふりエプロンかもしれないし、ある人はドジキャラを可愛いと思ふかもしれないし、ある人はツンデレなキャラクターかもしれません。

女の子キャラクターは服装や性格の幅広いバリエーションを描きやすいので、それだけ「萌え」スイッチをオンにする鍵のバリエーションは幅広いのですが、「萌え」とは別に女の子だけに限定されるわけではありません。素敵な美少年・美青年とか、動物、特に猫で「スイッチが入ってしまう」人も多いものです。

### 『萌え』は実在の人物には使はない？

『萌え』といふ言葉は、漫画やアニメのキャラクターなど、架空の人物に対してのみ使ふ言葉で、実在の人物に使ふのは間違つてゐる」と主張する人が一部にゐます。

確かにこの言葉は、主に漫画やアニメのファンが、自分の好きなキャラクターについて使ふ事が多かったもので、「実在の人物に使ふ」事に違和感を感じる人がゐるかもしれません。

しかし私の調べたところによると、「もえ」↓「萌え」と表記が変る辺りの時代、つまり一九九〇年代半ば頃には、アニメ声優に対して「萌え」といふ言葉がすでに使はれてみましたし、「波動用語の基礎知識<sup>95</sup>」と題する、当時のネット俗語を集めた辞典でも、「三次元萌え」（＝実在の人物に対する萌え）とか、「まりも萌え」（＝植物の「毬藻」<sup>まきも</sup>に対する萌え）の様な言葉さへ使はれてみました。必ずしも「最近出てきた間違つた用法」とは言へない様に思へます。

とはいへ、「自分は架空の人物に対してだけこの言葉を使ひたい」と個人的に思ふ人の気持ちを非難するつもりはありませんが、実態としてはどうやら、「実在の人物について『萌え』といふ言葉を使ふ」のは、昔から見られる様です。

### キヤラ萌え×恋愛Ⅱ片想ひ？

話を元に戻しませう。「萌え」のスイッチが入ったときの反応ですが、もちろん恋愛感情として出力される人も少なくありません。

たとへば野球漫画「タッチ」のヒロイン、南ちゃんに憧れた、といふ人は、一九八〇年代の漫画・アニメファンには多かったのではないでせうか。「自分の初恋の相手は南ちゃんだった」とさへ言ふ人もゐるでせう。

皆さんの青春時代のアイドルは誰でしたか。アイドルに「のぼせ」たり「片想ひ」する人も少なくありません。安倍なつみ

が「モーニング娘。」に入ってた頃、「2ちゃんねる」をはじめあちこちの掲示板で「なっち萌え」といふ言葉を見かけたものです。

確かに、漫画やアニメのキャラクターはもちろんのこと、実在のアイドルにも、「片想ひ」したところで、その恋愛が本当に成就する可能性は、絶望的ほど低いものです。でも、それは「お約束」、ツッコむのは野暮といふものです。「今となっては、それもいい思ひ出」と言ふ人は少なくありません。

### 「萌え」は恋愛だけではない

とはいへ、「萌え」は恋愛だけに限ったものではありません。猫萌えは特にさうですが、「恋」といふよりは「慈しみ」に近い感情である事も珍しくありません。場合によっては「畏怖」とか「崇拜」に近い感情が交じる人もあるかもしれません。

この様に考へてみると、「萌え」といふ概念が自分とは全く無縁の様に感じてゐる人でも、似た様な現象は見たことがあったり、自分自身体験してゐるかもしれない。あなたの心のスイッチを反応させるものは何でせうか。是非探してみてください。

「オタクは〈萌え〉を隠れ蓑にして、歪んだ欲望に耽溺する」などと主張する人があます。しかし、それは逆に言ふなら、〈萌え〉そのものが平和的に見えるからこそ、「歪んだ欲望」を隠蔽する隠れ蓑にできるといふものです。悪いのは「羊の皮をかぶった狼」であり、「羊さん」ではありません。

実際、「萌え」といふ言葉は、アニメマニアの間でしばしば「エロ」(=この場合は、即物的な欲望)の対義語として「奥ゆかしい可愛らしさ」の意味でも使用されます。「俺の求めるのは、エロではなく萌え」といった具合です。



## 「現実と虚構の区別がつかなくなる」って本当？

「最近の若者は漫画ばかり読んでるので、現実と虚構の区別が付かずに犯罪に走る人が昔より多いのではありませんか」

——なるほど、漫画の悪影響を心配する気持ちはわかります。でも、もし「悪い漫画が悪い心を育てる」といふのが正しいなら、「良い漫画が良い心を育てる」とも言へるではありませんか。

青少年による殺人事件が起きるたびに、「犯人は漫画やゲームが大好きで、現実と虚構の区別が付かなくなって人殺しをした」といふ言葉を、週刊誌やワイドショーなどで目にする事があるかもしれません。果たして、漫画やゲームはそんなに危険なのでせうか。

### 漫画やゲームばかりそんな風に言はれる！

当の漫画やゲームのファンからよく聞く言葉です。確かに、普段悪者にされるのは「漫画」「アニメ」「ゲーム」「ホラー映画」辺りで、「推理小説」「サスペンスドラマ」は、それほど問題にされない事が多いものです。なるほど、不思議なものです。非難する人が理解できる作品は非難しないが、理解しづらいと感じる作品は非難するものかもしれません。

### 結論ははっきりしないまでも

その様な作品が本当に危険につながるのかについては、専門家の間でも意見が分かれてゐます。そのため、ここではそのはっきりとした結論は挙げないまでも、幾つかのことだけは言へるのではないかと思ひます。

まず、その様な作品を見たところで、すべての人が犯罪を犯すわけではないのは、事実です。とはいへ、影響が「全くない」とまで言ひ切る事も難しいでせう。少なくとも、戦争やテロの映像をテレビニュースで見続けた時と同じで、「慣れが生じてしまふ」事なら、恐らくあるのかもしれない。

次に、仮にその様な危険が本当にあるにしても、漫画やアニメやゲームが「すべて」危険、とまでは言へないでせう。もし

「悪い漫画が悪い心を育てる」といふのが正しいとしたら、「良い漫画が良い心を育てる」とも言へるはずです。

それから、「現実と虚構を混同」云々といふ言葉を、本当にその危険を気に掛けて使つてゐるならまだいいのですが、場合によつては、「人の動機を勝手に推測するためのお約束」の言葉だったり、「青少年やオタクはこんなものだ」といふ先入観の表れだったり、彼らに愚痴をこぼす時のお約束として、しばしば悪用されてゐるのを見かけるのが残念です。

また、「犯罪の原因は一つだけではない」ものです。漫画やアニメやゲームなどが原因、と結論を出すのは簡単ですが、それでは、同じ作品を楽しんでゐる他の大多数が犯罪者になつてゐないのは、なぜでせうか。その大多数が持ち合はせてゐない、何か別の理由も関係してゐたのではないでせうか。

### 自己満足を卒業しよう

漫画やアニメやゲーム等に極端な程のめり込んでゐる人を心配する気持ちや、「もつと他の世界にも目を向けて欲しい」と願ふ気持ちも、なるほどわかります。しかし、ちよつと考へてみてください。それは言葉だけの自己満足で終つてゐないでせうか。

「忙しい」「危険な外で遊ばせたくない」と、テレビやゲームを、安易に、子供を静かにさせる為の「子守」代りにしてゐませんか。特に急ぎの仕事がないのに、家庭を大事にする子持ち

の社員が会社を定時で上がつて早く家に帰らうとすると、あからさまに不快な顔をしてゐませんか。「バーチャルな友達に熱を上げてゐないで、リアルな友達を作れ」と忠告する本人が、「でも自分は友達になるのは嫌」と、簡単に仲間外れにしてゐませんか。「漫画やゲームの世界に逃避するなんて」とこぼす前に、そこに逃避せざるを得ない状況をわざわざ作るなら、率直に言つて、マッチポンプそのものです。「もつと現実を見ろ」と言つたところで、その「現実」が、もしも叶はぬ夢だったら何としませう。それに、「漫画やアニメやゲームより素晴らしいものがある」と、代りに与へられたものが、とてつもなく子供だましの「しょぼい」ものだとしたら、それはかへつて逆効果です。所詮、与へた本人の自己満足に過ぎません。

### 虚構に没頭できない作品は駄作だ

逆に私は思ひます。「現実と見間違ふ程の虚構世界を作品として造り出せる人こそ、天才である」、と。

子供に昔話を聞かせてあげる時、自分の語る物語の世界に入り込んで、熱心に耳を傾けてくれると嬉しいでせうか。それとも、「そんなの、ただの作り話でしょ」と冷めた反応が返つてきた方が「ああ、この子も大人になつたんだな」と嬉しく感じるでせうか。

あるいは、自分が知合ひを映画に誘つた時、クライマックスシーンでは手に汗にぎつてハラハラドキドキ見てくれた方が嬉

しいでせうか。それとも、「ここはCG使つてゐて現実味がな  
い」とか「お前、大口を開けて見てて、をかしいの何の」とい  
ちいち茶々を入れた方が「ああ、いつも現実を見られる人でい  
いな」と嬉しく感じるでせうか。

映画の話の方は、私の実体験を脚色したのですが、こんな  
空気の読めない話はありません。作品中の虚構世界を楽しんで  
ゐる時は、適度に入り込むことがどうしても必要です。

### 漫画とうまく付き合はう

漫画やアニメやゲームが青少年文化として広く浸透してゐる  
現在、いや最近では「君の名は。」や「この世界の片隅に」等のア  
ニメ映画を高年齢者までもが映画館に積極的足を運んで見る様  
になつた現在、「どれも幼稚で、くだらなくて、時間の浪費」と  
して全部一緒に切り捨てて極端な反応よりも、むしろ、そ  
れとうまく付き合つていく方法を探つていくのはいかがでせう  
か。

イソップ物語とか、イエス・キリストの語つた「たとへ話」  
もさうですが、架空の物語であつても、そこから良い教訓を引  
き出す事が出来るなら、これは作り話の世界を現実で有益に活  
用する事に他なりません。

フィクションにはフィクションの良さがあります。それが「現  
実を生きる良き糧となり」、人々に生きる希望や励ましや人生の  
導きを与えるのであるなら、それを活用しない手はありません。

「こんな作品なら良いかもしれない」と思ふものを見つけた  
ら、是非他の人にも薦めてみてください。また、「鑑賞する」の  
も楽しいですが、可能なら是非「作る」側にも回つてみると、ま  
た違った充実感が得られること間違いありません。

### 漫画と想像力

「読書の世界は想像を広げるが、漫画の世界は与へられた  
絵を眺めるのみで、想像力を奪ひます」

「そんなものかねえ」

「そんな漫画は危険です。パーチャルな妄想がふくらむと  
犯罪に繋がる事があります」

「どつちやねん」

## 本物だって可愛いのに、どうして絵を選ぶの？

「本物の人間の方が可愛いに決まっています。会って話もできるし、血の通った生身の人間が一番です。絵の中の『彼女』しか愛せない人間なんて、人格的に問題があると思ひます」

——生身の人間の良さがわかるからこそ、その良さを何とかみんなに伝えたくて、絵や写真や彫刻として表現する人も多いん  
です。

「絵に描いたキャラクターが好きとか言ってるしないで、本物に接しなさい」と言ふ人が時々あります。きつとその人は、「絵＝本物の人間の代用品」と考へてゐるのかもしれない。たとへば、こんな事を言ふ人があります。

・パソコンマニアは友達がゐないので、パソコンを友達の「代用品」にしてゐるのではないか。

・アニメのマニアは成人女性に相手にされないの、アニメやゲームやフィギュアといったバーチャルな少女を「代用品」にしてゐるのではないか。

・そして下手するとちっちゃい女の子を成人女性の「代用品」にするのではないかと心配だ。

・さらに、少女漫画や少女アニメをエッチな本の「代用品」として性的に消費してゐるのではないか。

つまり「本物より劣った偽物に熱中してゐるのではないか」、そして、本物の代わりに「劣った代用品」の世界に逃げてゐるからキモい、と主張するわけです。この意見は正しいと思ひますか。

### 「代用品」に頼るのは間違ひか

もちろん、漫画やアニメのキャラクターを、本物の「代用品」として好きな人も、全くゐないわけではありません。しかしこれは、たとへるなら「熊の縫ひぐるみ」「ベット」の様なもので

はないでせうか。

テイベアを抱きしめると、孤独が癒される、といふ人は大人の女性にもゐますし、子供が家を出て寂しくなつたので、ペットを飼ふ様になつた、といふ老夫婦もよく見かけます。

可愛らしい女の子の漫画やアニメやフィギュアなどで「寂しさを紛らはす」人がゐるとしても、きつと、似た様な感覚ではないでせうか。いい年した大人がテイベアを抱きしめるのも、ペットのワンちゃんに口移しで餌をやつて溺愛するのも、可愛いポスターやフィギュアを見てニコニコ（ニヤニヤ？）するのも、端から見たら気持ち悪いと思ふ人もゐるかもしれませんが、まあ、少し位の事ならそつとしておいても良ささうなものです。

### 他のものでは「代り」はきかない

それに、テイベア好きがみんな人間の代用品として縫ひぐるみを使つてゐるわけではなく、単なる飾り物としてとか、手芸趣味として好きな人も多いものです。そもそもテイベアは、本物の熊の代用品ではありません。いつ襲はれるかわからない本物ではなく、縫ひぐるみだからこそ可愛いんです。

同じ様に、アニメの登場人物やフィギュアは、必ずしも生身の人間の代用品とは限りません。本物とは別の良さ、つまり「アニメでないと表現できない良さ」とか「フィギュアでないと表現できない良さ」もあるのです。

これは、本物の熊の可愛らしさと、テイベアの可愛らしさ

の違いの様なものです。実在の人間は実在の人間、アニメはアニメ、フィギュアはフィギュア、それぞれ違ふ芸術です。金子みすゞの言葉を借りるなら、「みんな違ってみんな良い」のです。「折り紙」で折る動物も、本物程には似てゐないので、本物を選ぶべきでせうか。いいえ、「一枚の紙が、折り方の工夫次第で色々な立体の動物の形になる」のが面白いのです。

考へてみると、恋愛を扱つたアニメやゲームが苦手な人でも、恋愛を扱つたドラマなら大好きな人が多く、普段聞く音楽も大半がラブソングでせう。しかしそれは「本物の恋愛の代用品」でせうか。もちろん、大抵は違ひます。

実話にしる創作にしる、芸術作品とうまく付き合つて、人生を生きる糧にできれば良いものです。

そもそも、本物の人間や動物同士だつて、「取り替へ」が利くものではありません。失恋したら、その日のうちに「ぢやあ次の人」と考へますか。大好きな家族とかペットが死んだ時、「一人位死んだつて、もう一人妹がゐるからいいぢやない」とか「ポチの代りにもつといい犬を買つてきてあげるから」と言はれて納得できる人はまづゐないでせう。同じ様に、アニメファンにとつてお気に入りのキャラクターとは、他の人物で愛情の取り替へが利く様なものではありません。

### 写真は「実在の人物の二次元化」？

身近な人の幼い頃の写真や、死んだ人の生前の写真を飾る人

は多いものです。これは、「幼い本人」や「生きてゐる時の本人」に会へないので、「写真の世界に逃避」してゐるのでせうか。さうではないはずですよ。

### 別の「代用品」を勧める？

最初に挙げた様な、「代用品の世界に逃げるのは気持ち悪い」と主張する人の一部には、とんでもない事を言ふ人もゐます。片や、女性の「代用品」としての漫画やゲーム等の美少女コンテンツを否定しながら、一方で実写のアダルトコンテンツや買春といった、これまた「代用品」を薦める、といふ矛盾です。これでは結局、同じ穴のムジナではないでせうか。

いはゆる「オタクバッシング」の中でも、この種の主張は、「キリスト教的純潔主義の都合の良いところ取り」と言へるかも知れません。つまり、漫画やアニメやゲーム等の時だけは「実際に行動に移さなくとも、女をみだらなまなざしで見ているだけで罪」と、(知ってか知らずか) イース・キリストの言葉を都合良く引き合ひに出して激しく非難するものです。それ以外の時はその言葉を否定して「性体験のない男は人格的に問題がある」「人間の欲望には捌け口が必要」「その捌け口こそ、欲望をコントロールする手段」となるのは、ある意味お約束です。

### 動機は人それぞれ

ある女性歌手が好きだといふ男性ファンは、どんな動機がそ

の背後にあるでせうか。「俺の彼女にしたい」とのぼせる人もゐれば、他方で「人生で挫折してゐた時に、歌声で元氣付けられた」とか「一生懸命頑張つてゐる姿に感動したので、応援したい」と言ふ人もゐるかもしれません。そもそも、「外見や性格」に魅力を感じる事もあれば、「歌の内容や技術」を素晴らしと思ふ事もあるでせう。それでは、漫画やアニメのファンについても、同じ事が言へるのではないでせうか。

これは「都合の良い一部分だけを切り取つて説明してゐる」のではなく、私自身、これまで沢山の漫画やアニメのファンと知り合つてきて、「動機は人それぞれ違ふ」事を本当に実感してゐます。一人一人の心の中で育んでゐるものは、自然と、作品の感想や描くイラストなどに表れてくるものですが、それを観察してみると、なほの事、さう実感します。

本人の動機を正確に知る事のできるのは本人と神様以外ありません。いや本人だつて少々怪しいものです。他人の動機を「どうせ変な下心があるに百パーセント決まつてゐる」と最初から決め付ける様な失礼な事をする前に、まづはご自分の目でお確かめください。きつと、認識を新たにするでせう。

## 男なのに女の子の漫画が好きなのは、変？

「最近は何代やそれ以上の男の子の間で、年若い少女キャラクターの漫画が人気ですが、今度は本物を手に入れたいと言って子供を誘拐したりしないか心配です。子供の命がかかっているので、この種の漫画を法律で規制できないのでせうか。」

——子供の福祉を気に掛けてらっしゃるんですね。立派です。でも、その問題を真剣に考えてゐるのなら、本当の問題点がどこにあるかしつかり見分けてください。純粹に楽しんでゐるだけの人の動機を過度に疑ふ代りに、味方に付けませう。むしろ、一部の男性文化の「暴力と性を強調する傾向」への反撥が背景の事も時にはあるのですから。

ここで質問します。「あなたは、男が少女漫画を読むことを、どう思ひますか」。

### 知っていると安心できる

女性に質問してみると、大抵、答へが真つ二つに分かれます。

「私も好きだし、是非男の人にも読んで欲しい」とか「普通だと思ふ」といふ答へを返す人は、私の観察範囲の話ですが、百パーセントと呼んでいい程、自身も少女漫画が好きでよく読んでゐる女性達です。特に、自分のお気に入りの作品を知り合ひの男性も読んでゐる事を悪く言ふ女性は、まづ見掛けません。むしろその作品の話で大盛り上がりするものです。

他方、「世間の常識からすると異常としか思へない」「気持ち悪い」と言ふ人もありますが、この答へを返す人の中には、少女漫画が嫌ひとか、あまり思ひ入れがない人が多い様に思はれます。

つまり、「自分がその作品を理解してゐるかどうか」で、こなにも両極端の反応が返つて来るものです。考へてみると「パソコン」や「携帯電話」も似てゐました。かつてそれらを悪の権化でもあるかの様に悪く言つてゐた人は、自分が使つてゐないので「疑心暗鬼」に陥つてゐる事が多かつたものです。しかしそんな人でも、自分のパソコンや携帯電話を持つ様になると、目が開けます。「どこどこは良いが、どこどこは問題点だ」と、

バランスの取れた見方が出来る様になるものです。

### 意外に純情な男性ファン達

とはいへ、少女漫画の熱心な男性ファンを公言する人は、昔と比べて少なくなつた様に感じます。少女漫画からアニメ化される作品が少なくなり、アニメが切っ掛けで少女漫画の世界を知る様になつた男性ファンが減つたのが、大きな理由の一つです。

代りに現在は「ライトノベル」(若者を主な対象とした、気楽に読める小説)や「萌え四コマ漫画」を原作とした、十代から成人を主な対象としたアニメが増えてゐます。この流れは二〇〇二年放送の「あずまんが大王」に始まり、「涼宮ハルヒの憂鬱」「らき☆すた」「けいおん!」「ご注文はうさぎですか?」など現在も続いてゐます。これらの作品の中には、女の子を主人公にしてゐながらも、恋愛がほとんど出てこない作品も多いのが不思議なのですが、「恋愛が義務ではない世界への憧れ」も一つにはあるのでは、と分析する人もゐます。

### 「子供をおびき寄せるエサ」といふ誤解

中には、「一部の成人男性が少女漫画や少女向けアニメを見るのは、少女をおびき寄せる話題作りとして」なのだ、といふ珍説を唱へる人がゐます。実際には、漫画やアニメのマニアの間でそんな話などまづ聞いた事がありません。

確かに、子供を狙つた誘拐事件や殺人事件はとも痛ましい事件であり、何としても無くさなくてはなりません。とはいへ、確かな根拠に基づかないただの臆測を、いかにも本当であるかの様に言つて非難するのは、本当の意味での問題解決から目をそらす危険があるので、注意しなければなりません。

それにしても、「自分は大人だから見てもつまらないのに、子供を引き寄せる話題として」漫画やアニメを見てゐる人なんて、本当にマニアでせうか。大体、マニアは子供と話す機会がなかつたつて、漫画やアニメを見なくなる事はありません。自分が楽しむ為に見続けるのです。

また、「チョコレート」や「飴」や「猫」も、「不審者が子供をおびき寄せる餌」として使はれますが、だからといって、お菓子好きな大人や動物好きな大人といふだけで誘拐犯と決まるわけではありません。それとも、漫画やアニメだけは例外なのでせうか。

さらに言ふなら、「子供と共通の話題を作る」事そのものは、決して間違ひではありません。間違つてゐるのは、飽くまでも、それを誘拐などに悪用する事なのですが、漫画やアニメでなんと話自体、聞いた事ありません。

### 色々な立場の人がゐる

「オタクはロリコンコンテツツの愛好家が多いので、犯罪的で危険だ」といふ漠然とした不安感や恐怖感を持つてゐる人が世

間には多いものです。中には、「変質者にはオタク趣味を持った人の割合が非常に高い」と独自の主張をして、その様な人々の不安をさらに煽る者もいます。

ところが、「オタクだった変質者の犯罪がそんなに多いといふのなら、具体的に、どんな事件があるの？」と聞かれても、五つ以上挙げられる人は、まづ見た事がありません。「犬が人を噛んでもニュースにならないが、人が犬を噛むとニュースになる」といふ言葉通り、その種の犯罪は、「起きたら大ニュースになるほど珍しい」もので、だからこそ、件数が少なくとも人々の記憶に深く残ってしまふのかもしれない。（大体、「オタク趣味を持つてゐると危険」とか「顔がオタク顔なのは危険」といふ基準で自己流判断をするのは危険です。逆に、立派な身なりで社会的にも信用されてゐる身分の人だから安心だ、といふのも危険です。）

もちろん、世間で「オタク」扱ひされてゐる人々がみんなロリコンコンテンツの愛好家ではありませんし、その「ロリコン」とやらも、本当に少女愛的な傾向の作品といふ意味ではなくて、単に可愛い女の子の出でくる漫画やアニメやゲームを漠然と指してゐる事が往々にしてあるものです。

しかし、そのすべてが「犯罪的」とは大袈裟でせう。それに、さういふ作品が人気を博してゐるのには、ちゃんと理由があります。

まず、単に可愛いものが好きなファン層がります。広告業

界では「3B」つまり「美女(Beauty)」「子供(Baby)」「動物(Beast)」を使ふと目を惹き付ける、とよく言はれてゐます。その効果を狙つて少女を登場人物に据ゑることが多いのかもしれない。

次に、少女漫画の男性ファンといふ層もあります。青少年漫画の一部に見られる、暴力と性を強調する傾向への反撥があったり、少年漫画にはあまり見られない、登場人物の繊細な心の動きを抒情的に扱つた作品に興味を持つたり、姉や妹や級友の女子の読んでゐる本を借りて興味を持つたりといふ切つ掛けの事もあります。かういふファン層は、少女漫画や萌え系コンテンツの中でも、抒情的な作品が好きなものです。

最後に、美少女ヒロインに恋するファン層。ラブソングが流行歌の大半を占めてゐたり、ドラマや映画でも恋愛をテーマにしたものが多かつたりするのと同じ事です。初恋の様な純朴な感情だつたり、「学生時代自分はこんな恋愛をしてみたかつた」といふノスタルジアである事も、よくある事です。

多くは平和的な恋愛を扱つた作品であるものの、相手を陵辱する様な内容や犯罪めいた内容のものも一部にないわけではありません。しかし、これは美少女ヒロインに恋するファン層の中の、さらにアダルトコンテンツが好きなファン層の中にあつてさへ、嫌ひだとか理解できないとか言ふ人も少なくありません。

そもそも、「オタク」と呼ばれる人がみんなアニメが好きなわ

けではありませんし、アニメ好きがいはいゆる「萌えアニメ」は嫌ひ、といふ人も大勢あります。そして、好きではあつてもヒロインを「娘」や「妹」の様に見る人と、「恋人」の様に見る人と、それから「自分の投影」の様に見る人と、色々な立場の人がゐるものです。

### グループにより大きく異なる雰囲気

しかしこの様に説明すると、「それはほんの一部の世界の話だ」「エロばかりぢやないよ、いはゆる一般向も多いよ」と主張する気持ちも分かるけど、今の現状を見ると説得力ないよ」と反論する人もゐるかもしれません。

確かに、その気持ちもわからないではありません。まあ、インターネット検索でお目当てのサイトを探したはずが、アダルトサイトばかり引つ掛かる様な、そんな感じなのかもしれない。その様なものを求めてゐない人は、確かに取捨選択する必要があるでせう。

でも、いはゆる「一般向」はごく例外的な存在かといふと、さうではありません。それが一番よくわかるのが、動画投稿サイトとして有名な「YouTube」と「ニコニコ動画」です。どちらも、アダルトコンテンツの投稿が制限されてゐますが、それが人気を落とす要因になることも、他のアダルトコンテンツ可の動画投稿サイトに人が流れる事もなく、萌えキャラ好きのオタク達の間でも非常に盛り上がりつてゐます。

私自身、約二十年の間、色々なアニメファンやアニメファンのグループと知り合つてきましたが、ほとんどが一般向作品を中心に楽しむ人々でしたし、性的まなざしで見えた魅力以外の事を普通に語り合へる雰囲気のところばかりでした。それも苦労して探したのではなく、すぐに見つかったところばかりでした。そして似た傾向のファンには似た傾向のファンが集まつて、また輪が広がるといふ具合でした。まあそもそも、漫画やアニメのマニアといつても十人十色で、グループによつても本当にカラーが異なるものです。

その様なファンが同人誌を発行してゐる事も多いもので、同人誌即売会や通販で今でもよく手に入れてゐますが、選択肢が限られるどころか、むしろ選択肢が多過ぎて迷ふほどです。かつての一般向同人誌は「あまり目立たない」存在でしたが、現在は当たり前の存在になりつつあります。

秋葉原の漫画同人誌ショップも、かつては成人向作品が多めで一般向が少なめだったのは確かです。しかし最近では、成人向作品の棚がどんどん減つて、店によつては半分以上が一般向作品のコーナーになつてゐます。

### 光の部分にも目を向けよう

「オタク文化は悪いところばかりではない、良いところもある」と主張するのは、オタク文化の闇の部分の覆ひ隠すことではないか」と言ふ人がゐます。確かに、いはゆる「オタク文化」

の闇について指摘する事も、時に必要でせう。しかし、「オタク文化」の闇の部分ばかりに目がいつて、周りが見えない」といふのも極端で、逆に「光を覆ひ隠す」事です。さうする事なく、光は光、闇は闇と、はっきり白黒付けたいものです。

とはいへ、多くの人が漠然と抱いてゐる、いはゆる「オタク文化」に対する不安に対し、ただ機械的に「それは誤解だよ、もつと理解してくれ」と主張するだけで終らせるなら、「何か全然人の話を聞いてくれなくて、オタクっていつもこれだから困る」と、逆に問題をこじらせる事になるかもしれません。

もし誤解であるにしても、相手の話を聞いて、理窟はともかく、まづは相手の気持ちを理解して、その上でないと、相手の不安は解消できないものです。私もどちらかといふと苦手な分野なので、永遠の努力目標でもあります。

しかし、「電車男」やテレビの秋葉原特集など、メディアではゆる「オタク文化」の光の部分が紹介される様になつて以降、これまでの「アニメ等の愛好家⇨オタク⇨危険人物、社会ののけもの扱ひ」といふ空気が、少しずつ変化しつつあるのを肌で感じます。ネットとかメイドさんといふ、みんなの知らないアニメキャラよりはまだ理解しやすい分野をきっかけにしたのが、人々の心をつかんだ秘密だったのかもしれない。



秋葉原電気街の中にある「昌平小学校」。

「オタク」がそんなに危険なら、ここの児童がまっ先に狙はれるはずだが、不思議な事に、そんな話はデマですら聞かない。

## 漫画好きは恥づかしい趣味？

「漫画の趣味は子供のうちに卒業すべきものです。大人の趣味としては、いい加減、「恥づかしい趣味」であることをみんな認識して欲しいと思ひます」

——漫画の生まれた当初は、大人が新聞や雑誌で読むものだったんですよ。大人も漫画とうまく付き合ってみませう。

### 漫画は大人の文化として生まれた

漫画は、「子供の為のもの」とか「子供っぽい娯楽」といふイメージで語られる事もあります。昭和時代は、「漫画は絵本と同じく、あまり字の読めない子供に読書の習慣を付ける目的に限り役立つが、俗悪な本が多いので注意すべきだし、ある程度字が読める様になったら卒業すべきものだ」と主張する人が少なからずありました。そんな主張に影響された親の元で育った子供は、子供時代に漫画をあまり読めなかつた分、大人になるとその反動でガツガツと漫画本を読み漁り、漫画オタクになる、なんて事も少なくありません（経験者は語る）。

閑話休題。歴史をひもとくなら、漫画は元々大人のためのものとして生まれました。大体、漫画を子供っぽいと非難する人でさへも、サザエさんの漫画やアニメに限っては、なぜか喜ん



坊 邦 田 和 代 時 衆 衆 金 成

で見たりするものです。

「鳥獣戯画」や「北斎漫画」は「漫画の起源」とよく言はれますが、もつと後の明治以降に限定するとしても、事の起こりはやはり大人向けの漫画の一種である、政治諷刺等を題材にした一コマ漫画です。現代の新聞にも政治面に時々載つてゐる、あの一コマ漫画の原型です（前頁の漫画は皆さんご存じですね）。

その後、新聞には現在の様なあの四コマ漫画も登場したり、「のらくろ」の様な子供向け漫画が少年雑誌に掲載されたりしていきました。

外国でもおよそ似た様なもので、一コマ漫画↓複数コマの新聞連載漫画↓子供向け漫画の順に登場してゐるやうです。蛇足ながら付け加へると、スヌーピーでおなじみの「ピーナッツ」といふ新聞連載漫画は、チャーリー達、子供のキャラクターを借りて大人社会を風刺した、大人向けの新聞漫画です。

この様な歴史を考へるなら、「漫画」と聞くだけで「漫画なんてどれも、どうせ子供っぽくて下らない読み物に決まつてゐる」「そんな趣味は子供のうちに卒業すべきだ」とハナから決める態度は、いかがなものでせう。

漫画は必ずしも子供っぽい娯楽とは限りません。子供向け漫画や安っぽい内容の漫画だけでなく、大人を対象にした漫画や大人の鑑賞に堪える秀作も実際には多いものです。特に日本では、「子供向け漫画を大人が読んでも面白い」位に子供向け漫画のレベルが世界的に高いものです。

是非とも、漫画を大人の手にも取り戻させよう。漫画は、「百聞は一見にしかず」といふ言葉通りの、素晴らしい表現手段です。機会があつたら、是非とも描く側にも回つてみませう。

### 活字

「またテレビばかり見て。たまには活字の本も読みなさい。想像力が広がる」

「はあ……」

「何、またインターネットか。文字でのコミュニケーションは本当の気持ちが伝はらない」

「とつちやねん」

## アニメファン冬の時代

『アニメオタクが迫害された時期がある』と必死になって主張する人が気持ち悪いです。あんなのは単なる被害妄想で、陰謀論です。そもそもオタクの自己責任です」

—— 本当にあった話なのですが、周囲に理解者がゐた人と、周囲が理解してくれなかった人とは温度差がある様ですよ。

十代〜大人のアニメファンは、昭和時代も少なからず存在しました。子供向け作品でも大人向けでもアニメファンはどんどん見られるものではありませんが、特に一九七〇〜八〇年代にかけて、「宇宙戦艦ヤマト」「機動戦士ガンダム」「銀河鉄道999」の様な、大人が見ても普通に楽しいSF作品が次々と放映され、制作会社やその周辺も、大人のファン層を意識し始める様になりました。アニメ主題歌のレコードは、従来は「いかにも昭和の子供向けテレビ漫画」といった雰囲気のものだらけでしたが、大人っぽいデザインのものも出始めたのがまさにこの頃です。SFだけでなく「うる星やつら」「めざん一刻」などのラブコメ作品や、「ミンキーモモ」などの魔法少女ものの作品のファンも多かったものですが、現代のアニメファンとも共通する部分があるかもしれません。私もそんなアニメファンの世界に少し憧れなが

ら子供時代を過ごしてきました。

昭和時代は、「テレビ漫画（アニメ）は子供のもの」とされる事が多く、それを喜んで見る大人のアニメファンは「いい歳して子供っぽい」と馬鹿にされる事がありました。漫画も「字の読めない子供に本を読む習慣を付ける目的に限り役立つが、字を読む事に慣れたら卒業すべきもの」とみなす親が多く、家庭によっては「漫画禁止」のところもありました。

平成が始まってすぐ、「アニメファン冬の時代」がやって来ました。当時発生した幼女連続誘拐殺人事件の容疑者の自宅に大量のビデオテープがありました。大半がアニメ」であるかの様な誤報が広まったのです。テレビのワイドショーも週刊誌も、まるで「アニメが大好き」な大人のファンは「幼女を誘拐して殺す様な連中と同じで危険」であるかの様にセンサーション

に書き立てました。四人の幼い命が殺された悲しい事件だっただけに、この事件に結び付けられた誤解の影響力はかなり大きく、自分の子供がアニメファンだと知ると家族会議を開いてアニメグッズを全部廃棄、友達にアニメファンだと知れると絶交される、といった時代になっていきました。

それ以前も学校内でのアニメファンの中高生は「何か変わった趣味が好きで、大人しい子」として「変人」枠に入れられがちでしたが、この事件以降、アニメファンは学校内で仲間外れにされたり嫌がらせを受けたりと、いじめのターゲットにされる事が増えました。このアニメファンに対する「迫害」は、「差別」ではなく「自業自得」とみなされ、親や教師の一部ですらそれに加担しました。いちめられて大人に相談しても「そんな子供っぽい漫画の趣味を続けているのが悪い」と相手にしてくれない事が多かったのです。

「当時のアニメファンは猛烈に迫害された」とは「何これ、キモい！」程度にからかって終りではありませんでした。「変人」ではなく、社会から排除すべき「異常者」「危険人物」とみなされたのです。「少女趣味な漫画見ると絶対犯罪犯す様になるから全部捨てろ」「そんなの見てる事自体、周りに迷惑掛けてるんだよ」「人間として終つてる」「いっぺん死んだ方がいい」「世の中から抹殺すべきだ」……。

ただ、この反応は人によって、家族によってそれぞれ異なり、ました。このアニメファンが猛烈に迫害されてゐた時期ですら、

理解ある家族や友人に囲まれてゐた人もあれば、勘当だの絶交だの持ち物を廃棄だのいじめターゲットだのと悲惨な青春時代を過ごしてきた人もありました。

こんな風潮の中では、友達が多くて大抵イケメンな、社交的なタイプ、今でいふ「リア充」な人々には、アニメをはじめとしたオタク趣味など、周囲に何を言はれるかわからないのでとても出来ない時代でした。極一部の人は自ら率先して、残りのある者は雰囲気の流れされたり自己保身のために、オタク趣味を楽しむ連中を仲間外れにしたり馬鹿にするのでした。もつとも、理解のある人も少なからずありました。

こんな具合で、平成一桁台のオタクは「迫害にへこたれない、ふるひにかけられた精鋭」だぞ！と言ひたいところ……ですが実のところは、「リア充グループに入れてもらへない『はみ出し者』の受け皿が、人を容姿等では偏り見ずに広く受け入れる事の多い、オタク趣味のグループだった」といふところかも知れません。

一応書いておきますが、オタクも他のオタクを馬鹿にする事が全くなかったわけではありません。まるで圧力に負けてキリストの弟子である事を三度否定したペテロの様に、周囲の風潮に流されたり自己保身の為、または「自分達健全なファン」と「あいつら気持ち悪いオタク」とを切り離して優位に立ちたいために、さうする事も残念ながら時折ありました。

当時の私は、むしろ同年代の人よりアニメに疎かったので、「私はあの異常な人たちとは違ふ」と傍観者である事も出来ました。でも、「アニメが大好きなだけでここまで酷い仕打ちを受けるなんて世の中は、絶対に間違つてゐる！」と、あへて「社会のはみだし者」の道を選び、アニメファンの肩を持つ事に決めたのを、今でも覚えてゐます。選んだ道は次の道でした。「あんな気持ち悪い連中と友達になつたら、私も家族みんなも迷惑するから、お願ひだから縁を切つて」と何度も懇願されました。私自身アニメファンになると「年相応の趣味つてものがあるけど、アニメは子供の見るものなのに、いい歳した成人男性が、子供向けのアニメや、よりよつて少女を主人公にしたアニメに夢中になるなんて、異常趣味そのものだ」と非難される様になりました。実家に住んでゐた時は、アニメグッズは「嚴重に隠すもの」でした。アニメを録画したビデオテープを割つてゴミ箱に捨てられたり、アニメファンから届いた手紙を勝手に捨てられたりした事もありました。何度か家族会議が開かれて勘当寸前まで行つた事があります。

大人のアニメファンを社会から追放したくて仕方ない人々の大義名分は、こんなものでした。

- 一、子供の趣味なのに変
- 二、女児アニメは女の子向けなのに変
- 三、子供の趣味や幼い少女キャラへの関心は犯罪的では

- 四、キャラの目が大きくて気持ち悪い
- 五、オタクの顔と身なりが気持ち悪い
- 六、みんなが変だと言つてゐる

「アニメオタクは萌えキャラを性的まなざしで見えてゐるから、非難されても仕方がないのだ」と主張する人がゐますが、私の経験からすると、その言葉を真に受けて「性描写やお色気描写を無くす、ファンもキャラを性的まなざしで見ない」等とやつても、実はあまり効果がありません。キャラやアニメファンに対する憎悪といふ「結論」はとうに決まつてゐて、あとは非難する理由を探してゐるだけなのです。から、「いい年した成人男性が幼い顔付きの女の子の出でくるアニメを見る事自体が異常だし、絶対にそんなキャラを変な目で見てゐるに決まつてゐる」と勝手に決め付けられるのがお決まりの筋書きでした。

その状況が次第に転換し始めたのは、二〇〇四年前後でした。特に大きな理由はこの二つでした。

- ・「電車男」が話題になり、映画化・ドラマ化
- ・秋葉原再開発がテレビ番組等で話題に。メイド喫茶を中心にオタク文化が「変つてゐるけど面白い」ものとして盛んに取り上げられる

特に、これまでは「女性の敵」とみなされがちだったオタク男性が、「電車男」では「女性を助ける」側に回り、そして「オタク男性はモテない、結婚するならオタク趣味を捨てるのが当

然」だったのが「やれば恋愛出来るし、純朴」と積極的なイメージを広めました。当時は「オタクⅡ珍獣」として扱った番組も多く、本当のオタクではなく「ステレオタイプなオタクのコスプレをした役者」が演じてるらしきものも少なからずありましたが、それでも従来の「オタクⅡ社会の敵」よりはよっぽどマシでした。

私が一番の変化は「アニメグッズを少しは部屋に飾れる様になった」事でした。昔実家に住んでゐた時は、その種のグッズは「嚴重に隠すもの」でしたが、今では実家から家族が来てても部屋の縫ひぐるみを「恥づかしいから隠せ」と言はれなくなりましたし、アニメキャラのマグカップで一緒にお茶出来るまわりに関係が改善されました。ゆるキャラブームも追風になりました。私のゆるキャラ好きが知られたので、そこから「何故可愛いキャラの出て来る漫画やアニメに心惹かれるか」を説明しやすくなったのも一因かもしれません。

「アニメをはじめとしたオタク趣味は恥だし隠すべきもの」と思つてゐる人は今でも多いものです。確かにエロやお色気ものなど、場の空気を考慮すべきものもありますが、必要に応じて「オタク文化を一般人に説明する」事自体は重要だと私は信じてゐます。今誤解してゐても、いつ状況が改善するかわかりません。

### ラブソングの「ベイビー」は成人？

「ベイビー」といふ言葉の出でくるラブソングは数多くあります。この言葉を文字通り受け取ると、「赤ん坊に恋をする」みたいで、ちょっと変ですが、これは、あくまでも比喩的な意味なのです。恋人の可愛らしさを赤ん坊に喩へたり、赤ん坊を母親が大事に大事に扱ふのと同じ様に、自分にとつてかけがへのない大事な恋人、といふ意味なのです。まさか「成人女性と恋愛できないから、赤ん坊に逃げてゐる危ない歌だ」なんて馬鹿なことを言ふ人は、まづゐないでせう。

ところで、いはゆる「萌えキャラ」は、等身を低くして幼く描かれる事が多いものです。高校生〜成人のキャラクタ―でも、可愛らしさを誇張する目的で、わざとそんな風に描くことがあります。この場合も、先の「ベイビー」に少し似てゐるかもしれません。

## 「オタク差別」なんてものはない？

「気持ち悪いオタクが差別されたの何のと言ってますが、「オタク差別」なんてものはありません。馬鹿にされたり仲間外れにされても仕方ない事しかやってないのだから自業自得です」

——百歩譲って差別には当てはまらないとしても、少なくとも「不公正な待遇」ではありませんね。

ある人は「世間にはオタク差別があふれてゐる」と言ひます。他の人は「オタク差別なんてものはない。オタクに責任があるし、自業自得だ」と言ひます。先の章で挙げた例は、「差別」ではなく「自業自得」なのでせうか。

この種の論争は、オタク文化に関するものだけでなく、人種・民族差別をはじめ、あらゆる場所で見掛けます。

### 差別を美化する十の方法

- 一、「彼等にこそ原因がある」
- 二、「我々に迷惑だ」
- 三、「反社会的な影響を排除したいだけだ」
- 四、「もし問題が起きたら責任を取れるのか」
- 五、「差別ではなく正直な感想だ、私が個人的に嫌ひと言つて何

が悪い」

- 六、「強者や多数者をののしるのは差別ではない」
- 七、「自分で変更できない属性に対するものだけが差別」
- 八、「彼等に自浄作用がないのが悪い」
- 九、「我々の主張を邪魔するのは言論弾圧」
- 十、「公権力ではなく個人が行ふものは言論弾圧ではない」

仮に「彼等にこそ原因がある」としても、本当にすべき事は「真の原因を見極めて解決する事」であり、「それをせずに仲間外れにしたり嫌がらせをするだけで満足する」事ではありません。人種・民族差別では、弱い立場の人々が住居や職業の面で差別待遇を受けて真つ当な暮らしをするのが難しい事が原因でトラブルが生じる事がありますが、これは被差別者側が悪

いといふより、むしろ差別者側の蒔いた種と呼ぶ方が相応しい  
でせう。オタクと社会の軋轢あつれきについても、社会がオタクを仲間  
外れにする為に真つ当な人間関係が妨げられる事が原因である  
事が往々にしてあります。

「迷惑」も「反社会的」も、差別する側の物差しによる基準に  
過ぎません。全てがさうとは限りませんが、自分のわがままを  
他人のわがままにすり替へてゐる事もしばしばあります。

特定の人を好きだ嫌ひだと思ふのはもとより自由です。しか  
し、その理由として「迷信」や「不公正な判断」があるとした  
ら、それは問題ではないでせうか。

「男性は強者なので、『男性差別』なんてものはない」と主張  
する人が居ますが、相手が強者とか多数者であっても、不公正  
は不公正でせう。かつて南アフリカにあった黒人差別政策「ア  
パルトヘイト」では、少数派の白人政権が多数派の黒人を差別  
する構造でした。

「オタクとは男女とか人種の様に分けて変更できない属性で  
はなく、自分で自由に選んだりやめたり出来る趣味なので差別  
には当たらない」と主張する人もあります。しかし「思想や宗教  
による差別」や「国籍差別」も自分で変更できる属性に対する  
差別です。日本に永住する在日外国人は、いつでも日本に帰化  
出来るので、差別には当たらないのでせうか。

「善良なオタクは害のあるオタクにきちんと注意して自浄作  
用を働かせてゐないから、一緒に軽蔑されても仕方ない」

といふのは、往々にして自らのオタクに対する偏見を正当化す  
るための口実に過ぎません。どんな口実があつたとしても、偏  
見を持つ事自体が間違つてゐます。オタクとは何かの組織では  
ありませんし、連帯責任を受け入れる義務もありません。

それに、「オタクの方が自浄作用を發揮せよ」とは、ヤクザの  
「誠意を見せろ」に近い無理難題です。控へ目に言つても「自  
浄作用の基準は私が決めるので、オタクは黙つて守つてくださ  
い」です。ヤクザの認める方法（金）しか受け入れられないの  
と同じく、アンチの認める方法（オタク文化撲滅）しか受け入  
れられないのは目に見えてゐます。これまでの実例からすると、  
いくら暴力表現や性表現を一掃したところで「まだまだ不十分  
だ」と非難されるでせうし。次は「小さな女の子を主人公とす  
る作品を子供が見るのは健全だが、成人男性が同じ作品を見る  
のはポルノ同然」とされるのは見え見えです。

「我々の主張を邪魔するのは言論弾圧」に至つては、その言葉  
をそっくりお返ししたい程です。最初にオタクの文化活動を邪  
魔し始めたのはあなたでせう、と。それ相応の理由があるのな  
ら耳を傾ける価値はありますが、個人的な好みとか偏見とか不  
公正な判断により邪魔されても黙つて受け入れなければならな  
いといふ道理はありません。

さて、差別の不正とは、差別そのものの不正だけではあ  
りません。差別は簡単だが差別の解消がかなり困難で、その解  
消するコストが被害者だけに押し付けられる不正もあります。

## オタク批判は悪い事？

「私は別に悪い動機でオタク批判をするつもりはありません。それなのに、ちょっと何か言っただけで犯罪者予備軍みたいな気持ち悪い連中が数の暴力で押しかけて必死に反論してくるのが気持ち悪いです。連中は理由ばかり求めますが、常識的に気持ち悪いものは気持ち悪いです。私を邪魔する、ストーカーみたいなヘイトスピーチを何とか止める事はできませんか？」

——批判そのものは時に必要ですが、単なる個人的な好き嫌いや恨みだったり、不公正なやり方では話を信用してくれません。「オタクを社会から排除する」といふ結論ありきで反論を許さないのではなく、公正な批判をお願いします。

可愛らしい「萌えキャラ」は、かつては書店の漫画コーナーの  
一画やアニメショップ等で見掛ける程度でした。ところが、ア  
ニメが「オタクだけのもの」ではなく段々幅広い人気を獲得し  
てくると、街のあちこちで見掛ける様になりました。オタク文  
化にそれほど詳しくない人でも「初音ミク」の名前はどこかで  
聞いた事がある、といふ具合になりました。

ゆるキャラが町おこしに利用されるのと同じく、萌えキャラ  
による町おこし——萌えおこし——もあちこちの地域で見掛け  
る様になりました。一部例を挙げるなら、「らき☆すた」の埼玉  
県久喜市（旧・鷲宮町）、「けいおん！」の滋賀県豊郷町、「ガー  
ルズ&パンツァー」の茨城県大洗町は特に有名で、アニメキャ

ラクターを使ったポスターを商店街の店舗に貼る、アニメに登  
場する場所のガイドマップを作成して配布する、アニメにちな  
んだイベントを開催する等、商店街を挙げての活動をしていま  
す。

### 萌えキャラに対する批判

この様に、自分の好きなキャラクターの存在が一般の人々に  
も知られていくのは、ファンにとってはとても嬉しい事です。し  
かしその一方で、オタク文化の活動は批判を受ける事もありま  
す。過去にあった苦情を受けてか、イベント開催時に徹夜で並  
んだり大声で騒いだりして近隣住民の迷惑にならない様にとか、

コスプレのまま会場へ移動せずに会場の更衣室で着替へよ、等と開催者側から時折注意を受ける事があり、完璧とは言へないまでも、多くの人はきちんと守つてゐます。

しかし、批判の中には賛否両論あるものや、中にはどう見てもただの言ひ掛かりではと思はざるを得ないものもあります。

・三重県志摩市を宣伝する、海女をモチーフとした萌えキャラ「碧志摩メグ」が「性的な部分を過剰に強調して不快だ」と、市の公認取消、ポスターやパネルを撤去等の要求を受ける

・美濃加茂市観光協会とアニメ「のうりん！」（美濃加茂市が舞台）のコラボ企画のポスターが「キャラクターの胸が強調されてセクハラではないか」と抗議を受ける

・東京メトロの「ゆるい雰囲気」のオリジナルキャラクター「駅乃みちか」と玩具メーカーがコラボした萌えイラスト（駅で使用されてゐるわけではない）が「下着が透けてるのでは」「潤んだ目や赤らめや頬やくねらせた足は男に媚びてるのでは」としてネットで非難される（実際には下着ではなく影である可能性が高い）

・京都市交通局の女子高生キャラクターのポスター「地下鉄に乗るっ」が「オンナノコをお飾りに使う文化」等とネットで非難される

・萌えキャラではないが、二〇一六年リオ五輪閉会式の日本のビデオに制服姿の女子高生が出て来た事を、性的描写を世界

に広めたかの様にネットで非難する人も

中には「萌えキャラそのものが性的なので、公共の場には相応しくない」かの様に言ふ人までゐます。

### 問題のある批判手法

この種の非難は、日本で初めて起こったわけではありません。海外のひどい例としては、一九三〇年代の事ですが、米国映画で人気を博した子役俳優、シャリー・テンブルの事を、英国の小説家のグレアム・グリーンが「中年男性の観客が九歳のシャリー・テンブルに欲情を感じてゐる」かの様に書き、映画会社から告訴されて敗訴した事件がありました。

現代の日本の萌えキャラ批判と異なる点は、当時の多くの人々がこの奇妙な意見に同調しなかつた事でした。また、実際には彼自身子役俳優を性的なまなざしで見える様な批評を書いたり、晩年には少女買春疑惑まで明らかになり、「さもあらなん」といふ落ちが付いたのださうです。

萌えキャラ批判がすべてこの種の不当なものだとか、批判する人が全てこんな人であるといふ意味ではありません。しかし、「自分自身が少女キャラまたは実在の少女を性的なまなざしで見るので、まるで他人も同じであるかの様に動機を疑つて非難する」人は一部にゐます。

まあ、どんな物事も性的な意図に無理矢理こじ付ける事は可

能です。実際、筒井康隆は「文学部唯野教授のサブテキスト」に掲載された『ポスト構造主義による「一杯のかけそば」分析』の中で、「どんな物事であれ性的な意図がある様にこじ付ける事は可能」である実践例としてなのか、心温まる泣ける物語であるはずの「一杯のかけそば」の極端なエロ解釈を書いた事がありません。

次に、話を盛ったり、時には嘘を広めてまでも注目を集めた人が昔から極一部にのみます。正義感に燃えてあるタイプもあれば、自分自身への注目を集めたいタイプもみえます。オタク文化に疎い人に嘘を広めても、それが嘘であると気付く人は主にオタクです。すると「そいつは性犯罪者予備軍だから、自分の歪んだ欲望を守りたくて必死に反論するんだ、あいつに耳を貸すな」と、社会的に抹殺されかねないレッテルを貼って巧妙に排除します。無敵の論法です。

「批判の批判は許さない」主義の人も少なくありません。オタク批判の誤りを指摘すると「気持ち悪い連中が数の暴力で押しかけてきた」「ストーリーカード」等と勝手に決め付けるものです。ツイッター等のSNSでは、その種の人々に抗議するとブロックされる事が多いのは、ある意味お約束です。

### 建設的な議論を目指すために

まづ、オタク文化を批判する側も擁護する側も、「より良い解決策を探す」ではなく「相手を議論で負かす」事が目的になつ

てゐる人との論争は、徒勞に終る事が多いので、程々にしませう。この場合、相手と一緒に良い落とし所を見付けられる事はとても期待出来ません。もちろん、これは白か黒かの問題ではありませんし、しばらく会話してみないと相手の動機が見えてこない事もあります。結局平行線に終わったとしても、全くの時間の無駄とは限りません。周囲の人々がこの問題について考へる切っ掛けになるかもしれないし、自分自身、考への整理をするのに役立つでせう。

次に、社会と調和して生きていく事や、弱者の人権や、男女の相互理解は大切です。しかし、一部のオタク文化批判者の主張する方法でないとそれを守れないわけではありません。たとへば、「人権活動家のオタク批判を受け入れない」イコール、「人権を蹂躪する事」ではありません。「相手の主張を受け入れるか受け入れられないか」ではなく、様々な選択肢が考へられる事を念頭に置きませう。

そして、どんな表現が「性的」かに関し、文化的、年齢的背景や状況により、また人それぞれも感じ方が大きく異なる事を念頭に置いておきたいものです。日本人は、女性が素足を出す事を性的とみなす事はあまりありませんが、ヴィクトリア朝の英国では、人間どころかピアノの足ですら性的なもののようにみなされてカバーを履かせられる事もあつたと聞きます。同じ日本人ですら、「恋愛無しの男女の友情はあり得るか」の質問に対し「はい」「いいえ」の両方の答へが返ってきます。

絵には「わからない人にはわからないが、わかる人には性的な意図が隠されてゐるとわかる」表現手法がある事自体は私は否定しませんが、それでも、同じ一枚の絵からも、文化的背景や人それぞれの感性の違いにより、性的なものを読み取つてしまふ人もゐれば、「そんなのは無い普通の絵だ」と思ふ人もゐります。

それから、「性的」といふ言葉は、自分と相手とで定義が異なるかもしれないし、場合によつては二種類の意味を使い分けてゐるかもしれません。絵を描く人は、第二次性徴以降の人間の体付きは「男らしさ」「女らしさ」が段々はつきり出て来る事を知つてゐますし、デフォルメの多少はあるものの、それは絵にも反映されます。服装も男女で異なります。その程度の事でも「性的」といふ言葉を多用する人と、ポルノやそれに近い描写でなければ「性的」と呼ばない人とは、認識がだいぶ違います。

また、言論の自由も表現の自由も、無制限に許されるわけではない、といふのは確かに事実です。しかし、他人の自由を制限するには、それ相応のきちんとした理由が必要です。「自分が不快だから」では不十分ですし、それ以上の説明が必要です。

私は「萌えおこし」を含め、萌えキャラが街で活躍するの見る事自体は嬉しいものです。自分のお気に入りのキャラクターが街で愛されたり、または自分も知らないキャラクターを知る

切つ掛けになつたりする喜びがあります。ただ、「抗議して撤回させるのはやり過ぎだけど、ちょっとこれはマニア受けしかないのでは」とか「もうちょつと落ち着いたデザインの方が幅広い層に愛されるのでは」と思つてしまふ事にはあります。ただ、それを表明するのはかなり気を遣つて難しいものです。「そのキャラを擁護してゐる人には、オタクバッシングしてゐる連中の肩を持つてゐると誤解されるのでは」「逆に、萌えキャラを叩きたくて仕方ない人には、『それ見ろ、オタクにもこんな良心的な人がゐる』とばかりに自分の主張を曲解して利用されるのではないか」と。現代は萌えキャラ社会進出の過渡期なので、落ち着くまでまだまだ掛かるでせうが、うまく社会に受け入れられていく事を願つてゐます。

## どうして「オタク文化」を他の人にも説明するの？

「どうしてこの冊子は真剣になっていはいはゆる「オタク文化」を解説するんですか。本来アングラでコソコソやるものでせう。『數蛇』になってみんなにもっと悪く言はれても知りませんよ」

——言はうが言ふまいが、闇の部分を探しして聞きかじりの知識だけで非難する人は必ずあります。どうせ同じ事なら、「オタク文化」に関しては率先して「それ以外の人」に対する説明役に回ってはいかがでせう。

### 「ネット＝悪の巣窟」と思われてゐた時代

皆さんは、今から十年前、パソコンをお持ちでしたか。インターネットはお使いでしたか。

まだどちらも使ってなかった、といふ方も大勢いらつしやると思ひます。

そんな時に、「コンピュータウイルス」とか「ネット犯罪」といふ言葉をニュースで聞いて、「パソコンとかインターネットは恐ろしいもの」といふ、何だか得体の知れない恐怖感を感じていた人も、中にはあるかもしれません。それに、「パソコンを使つてゐる人は、人とのコミュニケーションが苦手で、機械と友達になつてゐてキモい」と思っていた人もありました。

しかし、当時そんな不安を抱いていても、パソコンやインタ

ーネットを実際に使ふ様になつて、「パソコンやインターネットそのものが悪いのではない」といふ事に気付いたではありませんか。

十年以上前は、ネット犯罪があると、「だからインターネットは犯罪者の巣窟だ」みたいに言はれる事が多かったのですが、今はまず言はれなくなりました。パソコンやインターネットに実際に触れることで、「悪いのはインターネットそのものではなく、あくまでも、その中の一部」である事が、だんだんわかつてきたのです。

### ワイドショー任せて本当にいいのですか

さて本題に入りませう。二〇〇〇年代前半に「電車男」と秋

葉原再開発が切つ掛けになり、これまで「オタク文化」を敬遠してきた普通の人が、「おでん缶」や「メイドカフェ」目当てに秋葉原に来る様になりました。

しかし、この現象をあまり快く思っていないマニアの意見を時々耳にします。「秋葉原は俺達の聖地だ。一般人が土足で入って来て荒らす様な場所ではない」「おでん缶の自販機前に物珍しそうに集まってゐる様子が見苦しい」「メイドカフェは知る人ぞ知る俺達のオアシスだったのに、一般人に目を付けられた」「一部店頭のロリコンコンテンツが一般人の目に触れたら、余計白い目で見られて、俺達の趣味がやりづらくなる」「所詮、一般人はオタクといふ『珍獣』を観察する為の興味本位で来てゐるんだらう」等々……。

それでも私は思ひます。この「アキバブーム」を、逆にチャンスと捉へる事は出来ないものでせうか。「一般人はオタク文化を興味本位で捉へて曲解する」、なるほど、さういふケースもあるでせう。しかし、いつまでオタク文化を一般人にとつて「よくわからないけど、恐くて得体の知れない存在」のままにしておくのですか。オタク文化を「一般人」社会に正しく説明しなければ、誰が「オタク文化」を説明するのですか。その役を、テレビのワイドショーやゴシップ雑誌や、オタク文化を中傷するタイプの人権活動家に任せたままで、本当にいいのですか。

「オタク文化の実情が世間に知れたら、余計バッシングされる」、なるほど、闇の部分の詳細を知ってバッシングする人は出

るでせう。しかし、それを世間が詳しく知らなければ非難されずに済むなんて保証はどこにもありません。

「オタク文化」を知った上で非難する人なんて、どうせ知らなくても非難するものです。むしろ闇の部分だけを聞きかじりの知識で判断して針小棒大に取り上げ、もつとひどく非難するでせう。どうせ同じ事なら、「オタク文化」に関はつてゐる人が率先して「一般人」に対する説明役に回つた方がどんなに良いか知れません。

それに、「オタク文化」の実情が世間に知れ、今よりも余計に闇の部分も知られたからといって、即、余計に反対されるといふのも、必ずしも真実ではないでせう。最初に挙げたパソコンの例を思ひ出してください。架空請求や悪質なウイルスと、コンピュータ犯罪は二十年前より今の方が余程深刻ですが、パソコンマニアは二十年前の方が今の何倍も白い目で見られてゐました。実際にコンピュータを使った事のない人にとつて、その「自分の知らない得体の知れない世界で恐ろしい犯罪が起こつてゐる」事に、とにかく漠然とした不安感や恐怖感を感じるのです。しかし、そんな人も実際にコンピュータを使ふ様になると、本当は何が危険なのか、そしてそれさへ気を付けてみれば安全にインターネットを使へる事が、身をもつてわかるのです。

いはゆる「オタク文化」全般についても、「この部分は問題点だけど、この部分は理解はできて安心した」といふ具合に、単なる漠然とした不安感を同じ様に一掃して欲しいものです。「な

ぜオタク文化を一般人に説明するのか」と問はれたら、私はかう答へます。

パソコンを趣味で使ふ人を「パソコンオタク」とは最近あまり呼ばなくなりました。マニアだけのおもちゃではなく、みんなが使ふ様になつたからです。漫画やアニメなどのキャラクター文化も、単に愛好家といふだけでオタク社会ののけ者扱ひ、は過去のものとなり、ファンの裾野が広がつて、同じ様になる事が、私の願ひです。

もちろん、みんながパソコンを使ふ社会になつた今でも、マニアだけの仲良しグループといふものは、今なほ健在です。漫画やアニメ等も、ファンの裾野が広がつたところで、きつときうなるに違ひない、と私は思ひます。



## 「はなごよみ」は「書き言葉の文化」を尊重します

「現代仮名遣い」対「歴史的仮名遣」は「現代語」対「古語」ではあり、ませんが、日本では禁止された書き方ではありません。「口語体」対「文語体」といふ文体の問題でも、「ひらがな」対「万葉仮名」といふ文字の問題でもありません。あくまでも「書き言葉は話し言葉に隷属すべきか否か」の問題です。「話し言葉こそ本場の言葉で、書き言葉は話し言葉を写し取る道具に過ぎない」とする現代仮名遣いと、「書き言葉は話し言葉から生まれ、次第に話し言葉とは独立した、書き言葉に適した決まりが育っていく」とする歴史的仮名遣いです。

言葉は現代人同士のコミュニケーションの道具に限定されるものではありません。思考の道具、表現の道具、記録保存の道具でもあります。「書き言葉の文化」を大切にすることを本サークル「はなごよみ」では、一般的な出版社とは異なり、歴史的仮名遣で執筆された原稿は現代仮名遣いに直す事なく、そのまま印刷します。

歴史的仮名遣や、場合により旧漢字も使用して文書を作成する事は、かつては理解ある出版社や技術のある校正者や印刷所を探すだけでも一苦勞でしたが、現在はコンピュータ技術の発展によりハードルが下がっています。「はなごよみ」では、この様な形で日本の国語文化の伝統を次の世代へ継承したい方々を応援致します。

本書は原則として次の基準により執筆しました。

- ・ 仮名遣は歴史的仮名遣（固有名詞や引用文等は例外）、現代の最新の学術研究による仮名遣の訂正も反映
- ・ 拗音、促音の捨字は使用する（歴史的仮名遣で使用しても構はない）
- ・ 漢字は新漢字（略式の字としては国語改革以前も多くの用例あり）を採用
- ・ 漢字制限は行はないが、難しい漢字にはルビを振る
- ・ 「同音の漢字による書きかえ」に拘束される事なく、それ以前に一般的な表記（複数ある場合も）から採用
- ・ 文体は口語体を採用
- ・ 書字方向は縦書きおよび一部左横書き（国語改革以前も多くの用例あり）を採用

PC・スマートフォン・タブレット端末でもお読みいただける、  
本誌のPDF版もどうぞ。どなたでも無償でダウンロードできます。

<http://eb.osito.jp/c91b/>



どうして女の子の絵ばかり描くの？

平成二十八(二〇一六)年 十二月三十一日 初版発行  
平成二十九(二〇一七)年 五月 七日 第二版発行

著 者 押井徳馬

発 行 所 はなごよみ

[osito2007@bear.plala.or.jp](mailto:osito2007@bear.plala.or.jp)

<http://osito.jp>

本書は平成二十(二〇〇八)年発行「どうして女の子のイラストばかり描くの？」を元に加筆修正した改訂版です。

本書に関する問合せは「はなごよみ」まで御願ひ致します。



男の子の絵を描くのと、女の子の絵を描くのでは、どちらが得意ですか。  
男性も女性も、女の子の絵の方が得意でよく描く人が少なくありません。  
本書はこの話題を「補助線」に、漫画ファンやアニメファンの気持ちの秘密を  
解説し、オタク文化に関する迷信を解いていきます。

